

# こんなときどうするの？ どうしたらいいの？ （物の貸し借り・順番 どうしたら身につくの？）

## 【プログラムのねらい】

毎日、無我夢中で子育てしているお母さん・お父さんにとって、自分の子育てについて見つめ、考え直す機会は少ないものです。

このプログラムでは、日常生活の中でよくあるエピソードを、子どもの立場に立って考えることを通して、自分の子育てについて見つめ直し、子どもへの効果的な言葉かけについて学習します。

## 【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方 ◎ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介をします。</li> <li>○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。</li> <li>○自己紹介やゲーム、手遊びを行い、明るく活動的な雰囲気づくりをします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく元気な話し方を心がけます。</li> <li>○プログラムのねらいと体験活動をしながら主体的に学ぶことのできる参加型のプログラムであることを伝えます。</li> <li>○ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。</li> <li>○1グループにつき5～6人（参加者が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。</li> <li>○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎エピソード1を読んで、気付いたことを「ワーク1」に記入しましょう。</li> <li>◎皆さんの家のお子さんの場合はどうですか。グループで意見交換をしましょう。</li> <li>○「ワーク2」の活動を説明します。エピソード2を読んで、「ワーク2」を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気付いたことについてメモするように話します。</li> <li>○「ゆうたくん」になったつもりで書いてみることを助言します。</li> <li>○子どものやりたいという気持ちを大切にしたい言葉かけについて考えてもらうように話します。</li> <li>○着替えの裏技についても意見交換をするように話します。</li> <li>○必要に応じて、グループのメンバー全員が発言するように促します。</li> <li>○ワーク1と同じ展開で進めます。</li> <li>○子どもが環境の変化に対応できるようになるためにどうしたらよいか考えるように働きかけます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちの物の貸し借りについて、エピソード3、4、5を読んで考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク1と同じ展開で進めます。</li> <li>○物の貸し借りについて困ったことや上手にいった経験談を意見交換するように働きかけます。</li> <li>○エピソード5のように上手にいった例や工夫した例を出してもらうように話します。</li> </ul>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎今日の学習のまとめをしましょう。</li> <li>○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。</li> <li>○発表してもらいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。</li> <li>○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。</li> <li>○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。</li> <li>○物の貸し借りは、子どもにとって難しいものですが、繰り返しの中で、子どもは学習します。上手にほめることの必要性を強調しまとめます。</li> </ul>

※ 設定時間が短い場合には、ワーク1を中心に流れを考えるようにします。



## 資料 1

### ○10数えたら交代を楽しくする数え歌

「1・2・3……9・10、ポーとなったら替わりましょう。ぽっぽー」

## 資料 2

### ワーク1の関連として



「ウーン」

うまくいかないな。なかなか思うようにできない。ボタンがうまくはまらない。靴下に足が入らない。くやしいー。

お父さん、お母さん、焦らずにじっくり待ってほしいなあ。頑張ったねと認めてほしいなあ。

### ◎着替えは見守りと励ましで

毎日の生活は着替えから始まります。着替えへの取組は家庭生活での影響が大きく、個人差もあるため、着替えをする気持ちはあっても、なかなかうまくできない子どももいます。

### ◎自分のペースで、できるところから任せてみる

着替えはボタンや靴下など、手先の機能の発達段階にある子どもにとって、難しく時間のかかるものです。その子のペースを大事にして、自分の力で着替えられたら認めてあげたいものです。そして、できることから任せて見守るようにしていきましょう。

### ◎着替えやすい工夫をしてあげましょう

ボタンの多い服、ボタンの小さい服、長すぎる靴下、きつすぎる靴などは子どもにとって着替えることが大変です。靴の大きさや靴下のはきやすさ、服の着やすさなどには注意したいものです。家庭で着やすい工夫をしてみましょう。

### 資料 3 ワーク2の関連として

#### 入園前に身に付けさせたいことは何でしょうか？

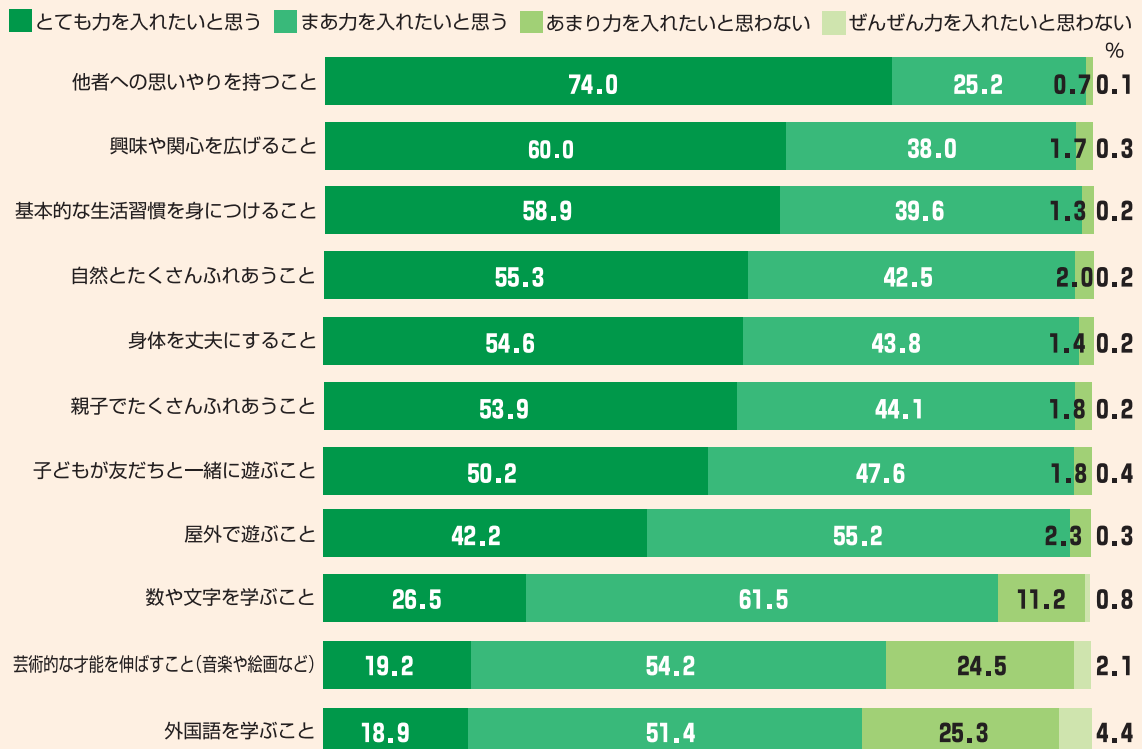
(次のようなことが考えられます)

- ・自分でトイレに行けること
- ・はしが使えること
- ・自分で服を脱ぎ着できること
- ・自分の名前が言えること
- ・困ったことを伝えられること
- ・自分のことは自分でできること

### 資料 4

#### 父親の子育て観・教育観

**Q**：あなたは、どのようなことに力を入れて、お子さんを育てたいと思いますか。



ベネッセ次世代育成研究所『第1回乳幼児の父親についての調査(平成17年)』から